

絵は絵の成る
つ絵のじの成る
ながの成す

2026
7/25-
8/30

SAT

SUN

休館日 | 毎週月曜日
9:00-17:00(入館は16:30まで)
入館料 | 一般500(400)円
大学生・75歳以上300(200)円
高校生以下又は18歳未満無料

※()内は10名以上の団体料金
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳
をお持ちの方と付き添いの方1名は無料

長野県伊那文化会館
美術展示ホール

〒396-0026 伊那市西町5776(春日公園内)
TEL.0265-73-8822 <https://inabun.jp/>

主催 | 長野県伊那文化会館
共催 | 長野県、長野県教育委員会、伊那市、伊那市教育委員会
後援 | 公益財団法人八十二文化財団、信濃毎日新聞社、
中日新聞社、長野日報社、信州・市民新聞グループ、
SBC信越放送、伊那ケーブルテレビジョン、
伊那市有線放送農業協同組合

IKEGAMI SHUHO

下絵から本画へ、
弟子たちへ

長野県
150th
NAGANO

20th
— 伊那市誕生20周年 —



池上秀畝《松図》 1909(明治42)年 伊那市洞泉寺



池上秀畝《梨花九官・蓮香・海棠鷓鴣》 制作年不詳 個人蔵



伊那市には、秀畝が残した作品が数多く残されています。本展では、秀畝が得意とした画題による本画に加え、卓越した観察力を示すスケッチ類、本画制作のために繰り返し描かれた下絵、そして制作記録としての手控帖等を紹介し、秀畝がどのように創作と向き合ったのか、そのプロセスを多角的にご紹介します。また、細合秀穀や堀田秀叢など南信ゆかりの弟子たちの作品に加え、秀畝一門が伊那で開催した移動展覧会の出品作

池上秀畝(1874-1944)は、筑摩県西高遠町(現・長野県伊那市高遠町)に生まれ、若くして上京し、荒木寛畝門下で修行を積んだ日本画家です。大正期には文展で三年連続特選を受賞し、帝展では無鑑査審査員を務めるなど、明治から昭和初期にかけて日本画・旧派を代表する存在として活躍しました。

も展示します。秀畝の表現が弟子たちへどのように受け継がれていったのか、また、伊那での揮毫や展覧会活動を通じて築かれた秀畝門と地域とのつながりにも、ぜひご注目ください。



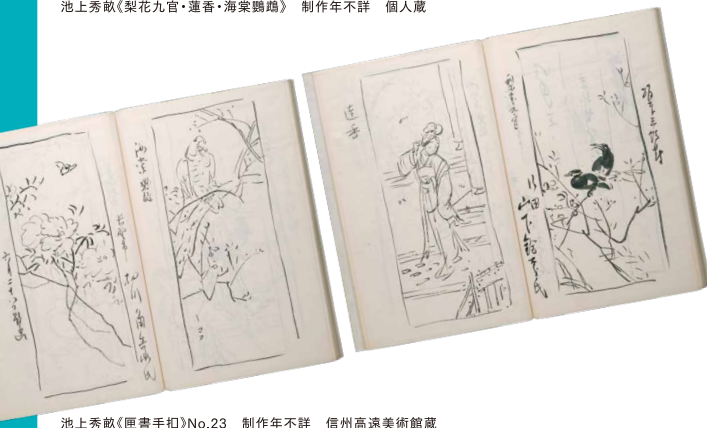
池上秀畝《楠公訣別》
1926(大正15)年 伊那市立伊那小学校蔵



池上秀畝《月下神妙》
1905(明治38)年 個人蔵



池上秀畝《台湾スケッチ》
制作年不詳 個人蔵



池上秀畝《匪書手扣》No.23 制作年不詳 信州高遠美術館蔵

展覧会関連イベント

●長野県伊那文化会館 美術展示ホール ●参加費無料(ただし、本展観覧券が必要)

●学芸員によるスライド・トーク

2026.8/9[日] 13:30-14:30(受付13:00~)

①「秀畝の歴史画」講師 | 加藤陽介(練馬区立美術館)

秀畝が手がけた歴史画の特徴や背景を、作品画像とともに紹介します。

②「秀畝調査隊は行く」講師 | 松浦千栄子(長野県立美術館)

2025年度ポーラ文化振興財団の助成により実施した池上秀畝作品の調査について、資料や現地調査の成果を交えながら紹介します。

●学芸員によるギャラリーツアー 2026.8/1[土] 13:30~

当館学芸員と会話をしながら、展覧会を鑑賞します。お気軽にご参加下さい。

長野県伊那文化会館

〒396-0026 伊那市西町5776(春日公園内) TEL.0265-73-8822 <https://inabun.jp/>

交通案内=JR飯田線「伊那市」駅下車から徒歩約20分、タクシー約5分。

中央自動車道「伊那」インターより約15分。「駒ヶ根」インターより約25分。「小黒川」スマートインターより約5分。※小黒川スマートインターはETC車専用。

※上り線(東京方面)スマートIC入口および下り線(名古屋方面)スマートIC出口をご利用のお客様は、小黒川パーキングエリアのご利用はできません。

